

第2回豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事概要

日時：平成27年9月28日（月）午後2時～4時35分

場所：豊能町役場大会議室

○開会

【1】あいさつ

【2】出席者紹介

【3】議事

（1）人口ビジョン素案について

- ①人口ビジョン素案の構成について
- ②人口ビジョン案（人口動向・影響と課題）について
- ③人口ビジョン案（要因分析・将来展望）について

（2）総合戦略の骨子案について

（3）今後の進め方について

○第2回豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 主な意見の整理

1. 人口ビジョン（素案）について

①高齢者の就業状況についての詳細な分析が必要

- これまでは60歳まで働いて、その後地域でどうやって生きていこうかという準備期間があったが、現在は定年も延び70歳くらいまで働く人もおり、地域に入る準備期間がなくなり、仕事を辞めた後に地域に入りにくい高齢者が増えてきている。
- 地域活動への参加意向（人口ビジョンP22）については、年齢5歳刻みで詳細を確認する必要がある。
- 高齢者就業者数の増加については、単に高齢化によるものなのか、就業継続や退職後の再就職なのか詳細を確認する必要がある。
- 就業者の就業場所（人口ビジョンP15）については、年齢階級別の状況を把握できれば、高齢者の就業状況・就業場所などが確認できる。高齢者の就業継続などの視点を持つならば、この点について検討が必要である。

②転出・転入の要因である「住まい」に関するさらなる課題分析と具体的な対策の検討が必要

- 結婚しても豊能町に残ってくれるような状況をつくることができれば理想であり、キーワードとして「住まい」がある。
- 豊能町内では持ち家が多く、住宅面積も広いいため、そのような家を購入できる世代は30歳代以降となる。一方、転出先となる川西市で安い借家もあり、一旦転出してある程度貯蓄し、子どもが多くなってから戻ってくるケースが考えられるのか。
- 以前は世帯あたりの子ども数は多いように感じたが、現在は減っているのではないか。
- 転出と転入の要因となっている「住宅の都合」については、色々な解釈ができる。
→転出の場合の「住宅の都合」とは、結婚の際に親と同居できないため。転入の場合の「住宅の都合」とは、安く広い家が豊能町にあるということだと考える。【事務局】
- 空き家率は比較的低い。住まいのニーズがあれば、民間事業所によりニーズにあう住まいが供給されるはずだが、なぜ整備が進んでいないのか。
→豊能町では都市計画上で厳しい制限があるため、小規模な住宅が整備できない状態にある。【事務局】
→住宅の供給が足りていないのであれば、都市計画・まちづくりの制度の方針を転換すべきである。
- 20歳代の人が結婚をして、なおかつ町内にとどまって欲しいということであれば、借家を提供して貯蓄しやすい環境をつくる必要があるのではないか。また、借家として空き家を活用するのも一つの手である。
- 都市計画上の規制を変えとなれば、これまでの「住環境が良い」という条件を変えらることになり、資産価値を損ねるといふ点からも抵抗がある。これまでの宅地を半分にして住宅を建てるのは見苦しい。
→小規模住宅の整備については、新たな地域に限定するなどして対応していく必要があると考える。【事務局】
- 空き家セミナーを開催すると、特に広い家へのニーズはあるが、紹介できる空き家のリストがないためマッチングができない。今後は貸したい・売りたい人と借りたい・買いたい人の情報交換ができるような空き家バンクをつくり、登録数を増やす必要がある。
- 今までの豊能町のまちのあり方について、まちづくりの方針を変えていかなければならない状況になっているのではないか。このままだとこうなるという「地獄絵図」を描き、一般論ではなく、「これからどうすべきか」ということを精緻に書かなくてはいけない。

③就労環境・産業振興についての現状・意見

- 人口が減少すると商売が苦しくなり、働き手も減少する。長期的な視点で具体的な取り組みを考えていかなくてはいけない。
- 自然環境をメインに豊能町は魅力がある町である。がんばっている取り組みに磨きをかけて発信すれば、もっと豊能町に住む人や興味を持つ人が増える。近隣にもよいところがたくさんあり、今後は観光事業にも力を入れるべき。
- 子どもを育てながら働ける方が意外と少ないかもしれないが、この地域は就業しやすいのか。

→町の規制が厳しく、町内に商業施設等が少ないため、働く場所も少ない。パートに出るとなると、電車に乗っていかなくてはならない。ただ、地域内で働きたくないというケースもある。

●西地区は住むところで、働く場所はない。

④その他

●転入する人の背景は複雑である。都市部から転入した人が「子育てのため静かな豊能町に来た。豊能町の人はずばらしい環境で育って、新しいところに転出していくが、それは良いことではないか。」と言われた。ベースとして自然が豊かな豊能町で育ち、外へ出て新しい世界を見ることは良いことである。

●今後めざすべき方向性として挙っている4点（人口ビジョンP47）については的を射ている。

●出産意向がない人の出産条件については、「収入が増えれば生みたい」が最も多く、「保育所など子どもを預かってくれる環境を整えれば生みたい」は4.4%にとどまる。しかし、この設問は選択肢を1つしか選べず、回答者は「保育所」と比べて「収入」を選んだだけであり、保育所が過小評価されているのではないか。

●西地区のニュータウンはこのままだと消滅する。一方、東地区には後継者がいることから、生き残っていく。吉川地区は生半可に便利で、子どもが外に出ており、後継者が身近にいないため、危険な状態にある。

→今後めざすべき方向性（人口ビジョンP47）については、東西の地域性の視点も必要である。

2. 総合戦略（骨子案）について

①住民への伝え方、総合戦略の表現方法などの検討が必要

●骨子案について、お金と時間があればある程度取り組むことはできるが、実際に取り組むのは地域の人であり、地域の人が「取り組んでいこう」という気持ちにならないといけない。人の気持ちを変えていくために、総合戦略をどのように書いていけばよいかの難しい。

→総合戦略については、地域住民にアピールできるような書き方が必要である。

●地域と企業は違う。企業の社員であればこれだけの骨子を整理すれば、何をすべきかがわかるが、地域の人にこれを提示してもわからない。どうすれば地域の人を動かせるかが問題。

●一般の住民の方へ、この総合戦略を通じて、どうやって語りかけていくかが課題となる。

●住民に危機感をどのように持ってもらうかが、大きなインパクトになる。危機感を数字やわかりやすい言葉で「地獄絵図」として提示したうえで、それを回避するための方法や、みんなで考えていく必要性を出せばよいのではないか。

●住民に伝えていくという点では、住民を対象とした継続的な勉強会、セミナーのような取り組みも検討していく必要があるのではないか。

●「人口減少・超高齢化の進行」について「何も対策を講じない場合」の状況と、「積極的に対策を講じた場合」改善される部分を出していく必要がある。KPIについても、取り組んだ場合と取り組まなかった場合について表現できればいいのではないか。

②その他

●総合戦略骨子案の取り組みイメージはどのような位置づけなのか。

→取り組みイメージをそのまま戦略に記載していくとうことではない。ただ、重要評価指標（KPI）と関連する取り組み・施策については記載していきたいと考えている。【事務局】

→総合戦略に関する具体的な取り組みについては、別途アクションプランとして記載するということ。

●総合戦略骨子案の「基本目標と基本的な方向性」はよく練られていると思う。取り組みのイメージ例は各部局で議論された結果なのか。

→事務局レベルの検討結果で、庁内調整はしていない。あくまでもイメージを持っていただくための例である。

【事務局】

3. 今後の進め方について

①より詳しい検討を進めるために分科会を設置・分科会の種類や数については事務局と会長に一任

- 総合戦略を具体的にしていくためにも、より詳しい検討が必要であり、その検討に向けて分科会を設置するという提案だが、どうか。
 - 各委員異議なし
 - 分科会のメンバーは審議会の委員を原則とし、関係する部署の職員等が入ることとなる。【事務局】
 - 分科会の検討結果は第3回の審議会で報告することとする。【事務局】
- 地域の人は地域を一番知っているのも、本来であれば地域でヒアリングを重ねることができればよいのだが、時間的に難しい。
 - 必要に応じて地域の方などにも参加してもらうこともやぶさかでないという形で分科会を実施する。
- 設置する分科会の種類や数については事務局と会長に一任でよいか。
 - 各委員異議なし

②総合戦略の策定は、経験したことがない時代を生き抜くための「新しいスタンダード」づくり

- これまでに、豊能町の収支バランスがよい時代があったはずであり、町が存続していくためにもその時代をめざすなど、理想とする目標を設定する必要があるのではないか。
 - 収支バランスが良かった時代には、シートスもユーベルホールもなく、東西バスも走っておらず、住民サービスのレベルが今とは全然違う。【事務局】
 - 収支バランスが良かった時代をモデルにするという考え方もあるが、制度などの状況が異なり、同じ環境ということがありえない。今後は経験したことがない時代に突入していくため、その時代を生き抜くためにも、「新しいスタンダード」を作っていくことになる。